# 2023年3月期 決算説明会資料



株式会社オープンドア (証券コード: 3926)



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料



## 1. ハイライト

- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

### ハイライト



#### ■ 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響

- 国内旅行市場については、コロナ感染者数の減少や全国旅行支援の再開などにより顕著に回復、4月以降も新型コロナ5類移行などにより回復傾向は続き概ねコロナ前の水準まで回復する見込み
- 海外旅行市場についても回復傾向にあるが、世界的な物価上昇や円安による旅行費用の高騰等の影響があり、特にレジャー旅行市場については回復ペースは緩やかで、コロナ前の水準に近づくのは来年以降の見込み
  - \*5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響」参照

### ■ 2023年3月期

- 売上高 **2,055百万円**(前期比 **+71.1%**、2020年3月期比 **▲58.4%**)
- 営業利益 ▲52百万円(前期実績 ▲653百万円、2020年3月期実績 1,538百万円)
- 新型コロナ新規感染者数が過去最多を更新するなど前期と同様に新型コロナ感染拡大の影響は受けたものの、旅行需要の回復を うけて、売上高は前年を大きく上回り着地、営業損失も前年から大幅に縮小、4Q会計期間で黒字化
- 市場の回復を見越し、開発投資を加速(売上原価 前期比 +171百万円)

#### ■ 2024年3月期 業績予想

- 旅行市場の回復傾向は底堅いが、いまだ不確実な要素も多く回復ペースの精度の高い予測が難しいため2024年3月期の業績予想については「未定」とするが、市場の回復に比例した業績の顕著な回復を見込む
- 強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越して引き続き開発投資を進めサービスの拡充及び競争力の強化を図る
- プロモーション施策についてはネット広告を主軸に市場状況も見ながら柔軟に判断
  - ※ 2023年3月期: 自己資本比率 88.3%、現預金残高 約29億円

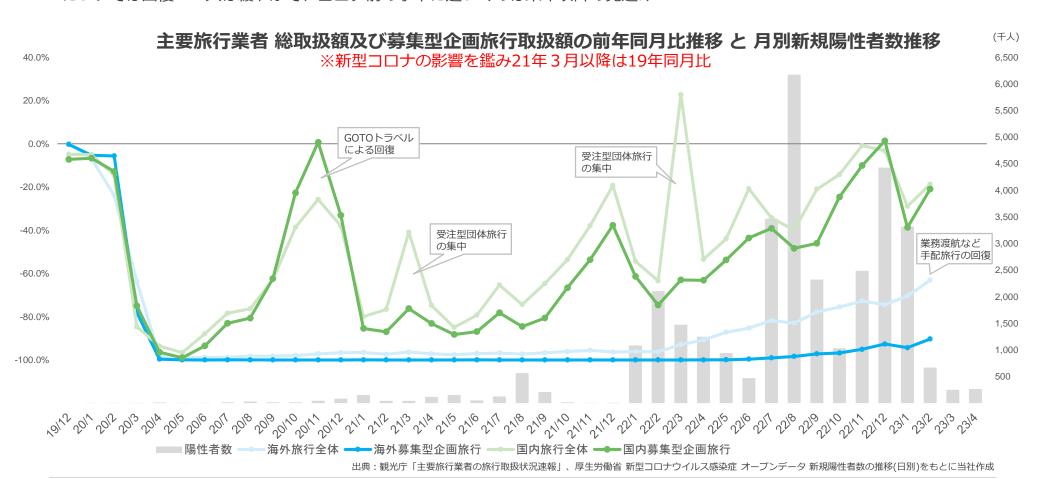


- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

### 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響



- レジャー旅行市場と連動する募集型企画旅行(パッケージツアー)の取扱額の前年同月比推移を追加
- 国内旅行市場については、コロナ感染者数の減少や全国旅行支援の再開などにより顕著に回復、4月以降も新型コロナ5類移行などにより回復傾向は続き概ねコロナ前の水準まで回復する見込み
- 海外旅行市場についても回復傾向にあるが、世界的な物価上昇や円安による旅行費用の高騰等の影響があり、特にレジャー旅行市場 については回復ペースは緩やかで、コロナ前の水準に近づくのは来年以降の見込み





- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

## 2023年3月期 業績概要 / 累計期間



- 新型コロナ新規感染者数が過去最多を更新するなど前期と同様に新型コロナ感染拡大の影響は受けたものの、旅行需要の回復をうけて、売上高は前年を大きく上回り着地、営業損失も前年から大幅に縮小
- 市場の回復を見越し、開発投資を加速(売上原価 前期比 +171百万円)

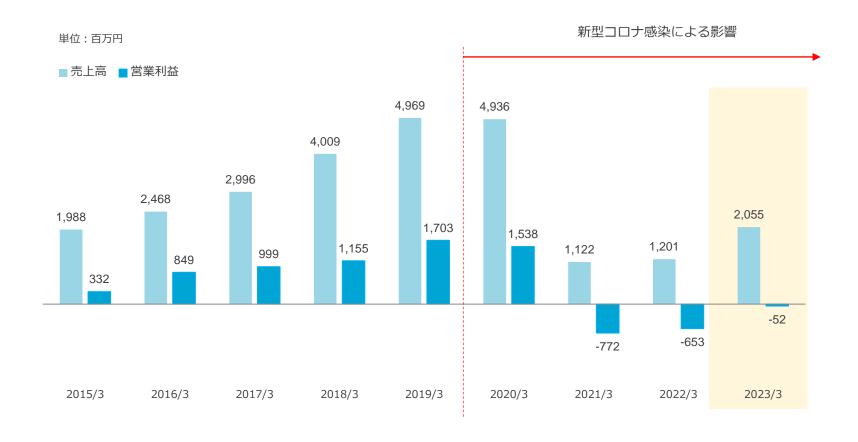
	単位	7:百	万円		2022/3	2023/3 <sub>r</sub>		
					実績 (前期)	実績 (当期)	増減額	前期比
売		上		高	1,201	2,055	+853	+71.1%
	売	上	原	価	662	833	+171	+25.8%
売	上	総	利	益	539	1,222	+682	+126.6%
販	売費及	えび-	一般管	理費	1,193	1,274	+81	+6.8%
営	業		利	益	-653	-52	+601	-
経	常		利	益	-541	-1	+539	-
当	期	純	利	益	-544	-44	+500	-
営	業	利	益	率	-	-	-	-

2020/3 実績	2020/3比 (コロナ前比)
4,936	-58.4%
651	+27.9%
4,285	-71.5%
2,746	-53.6%
1,538	_
1,540	_
925	-
31.2%	-

## 2023年3月期 業績概要 / 業績推移



新型コロナ感染による影響は引き続きあるものの、売上高及び営業損益は大幅に改善



## 2023年3月期 業績概要 / 第4四半期



- 旅行需要の回復を受けて、売上高は前年を大きく上回り着地
- 市場の回復を見越し開発投資を加速(売上原価 前期比 +65百万円)させたうえで、営業利益で黒字化

	単位	江:百	万円		2022/3	2023/3		
					4Q実績 (前期)	4Q実績 (当期)	増減額	2022/3 4Q比
売		上		高	315	590	+275	+87.3%
	売	上	原	価	165	231	+65	+39.7%
売	上	総	利	益	149	358	+209	+140.1%
販	売費及	及び-	一般管	理費	296	327	+30	+10.3%
営	業		利	益	-147	30	+178	-
経	常		利	益	-128	35	+163	-
当	期	純	利	益	-129	17	+146	-
営	業	利	益	率	-	5.2%	-	-

2019/3 4Q実績	2019/3 4Q比 (コロナ前比)
1,355	-56.5%
165	+40.5%
1,190	-69.9%
937	-65.1%
252	-87.8%
254	-86.2%
158	-89.2%
18.7%	_

## 2023年3月期 業績概要 / 四半期業績推移



● 売上トレンドはコロナ前と異なるが顕著な回復傾向







- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

## 2023年3月期 4Qの取り組み



### 4Qは24件の開発案件をリリース(通期では126件)、翌期も同程度以上のリリースを予定

最近のリリース一例

国内ホテル・宿

・ホテルプラン詳細ページ新規追加



ルームレート <ご宿泊のみ> ツイン / 50㎡ / 禁煙 / 食事なし キャンセル無料(期限あり) / 事前払い



海外版(多言語版) Travelko

・ホテルプラン画像表示



#### 国内航空券

・ローソンエンタテインメント新規連携



#### 国内オプション

・スマホ向け地図検索機能





- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

### 2024年3月期 業績予想



旅行市場の回復傾向は底堅いが、いまだ不確実な要素も多く回復ペースの精度の高い予測が難しいため2024年3月期の業績予想については「未定」とするが、市場の回復に比例した業績の顕著な回復を見込む

強固な財務基盤に加え需要に比例した業績回復を見越して引き続き開発投資を進めサービスの 拡充及び競争力の強化を図る

プロモーション施策についてはネット広告を主軸に市場状況も見ながら柔軟に判断

※ 2023年3月期:自己資本比率 88.3%、現預金残高 約29億円



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2023年3月期 業績概要
- 4. 2023年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2024年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

### 今後の主な取り組み予定 / トラベルコ





- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大 (民泊・旅行保険・アウトドアなど)
- 旅行会社向けサポートツールの提供
- サイトデザインリニューアル
- チャットAIのサービスへの導入

## 今後の主な取り組み予定 / TRAVELKO





- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOの機能拡充
- 観光情報の拡充
- ■プロモーションの実施



- 1. ハイライト
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大による旅行市場への影響
- 3. 2022年3月期 業績概要
- 4. 2022年3月期 4Qの取り組み
- 5. 2023年3月期 業績予想
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

## 2023年3月期 貸借対照表



- 自己資本比率88.3%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,987百万円

	単位	: 百	万円		2022/3 <sup>5</sup> 実績	ŧ	2023/3末 実績		増減額
	流重	协資産	<u> </u>		3	,274	3,4	419	+145
現	金	及 ひ	が 預	金	3	,018	2,9	987	-31
そ		の		他		255	4	432	+177
	固定	官資産	<u> </u>		2	,094	2,9	983	+889
	資產	全合計	†		5	,368	6,4	403	+1,034
	流重	加負債	Ę			171	(	348	+177
	固定	定負債	Ę			109		385	+275
	負債	青合計	†			280	-	734	+453
	純資	産合	<u></u>		5	,087	5,6	668	+581
資		本		金		648	(	548	-
資	本	剰	余	金		473	4	473	-
利	益	剰	余	金	3	,821	3,7	776	-44
そ		の		他		144	-	770	+626
負	債純	資産	合計		5	,368	6,4	403	+1,034

## 2023年3月期 売上原価・販売費及び一般管理費の主な内訳



● 市場の回復を見越し、開発投資を加速

	単位	立:百万	5円	2022/3 実績	売上比	2023/3 実績	増減額	前期比	売上比
	売_	上原価		662	55.1%	833	+171	+25.8%	40.5%
	労	務	費	453	37.7%	465	+12	+2.7%	22.7%
	そ	の	他	208	17.4%	367	+158	+76.1%	17.9%
販	売費及で	ブー般管	管理費	1,193	99.3%	1,274	+81	+6.8%	62.0%
	人	件	費	786	65.4%	767	-19	-2.4%	37.3%
	広岩	5 宣位	支費	78	6.6%	171	+92	+117.4%	8.3%
	そ	の	他	327	27.3%	335	+7	+2.4%	16.3%

## 2023年3月期 キャッシュ・フロー計算書



● 現金及び現金同等物は31百万円減少し、2,987百万円に

単位:百万円	2022/3 実績	2023/3 実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	+117	-7	_
投資活動によるキャッシュ・フロー	-17	-23	有形固定資産の取得による支出 △14百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	-0	-	_
現金及び現金同等物の増減額	100	-31	_
現金及び現金同等物の期首残高	2,918	3,018	_
現金及び現金同等物の期末残高	3,018	2,987	_

### 会社概要(2023年3月末時点)



会社名 株式会社オープンドア

設立 1997年4月

代表者 代表取締役社長 関根 大介

資本金 648百万円

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:3926)

旅行比較サイト「トラベルコ」 事業内容 多言語旅行比較サイト「Travelko」

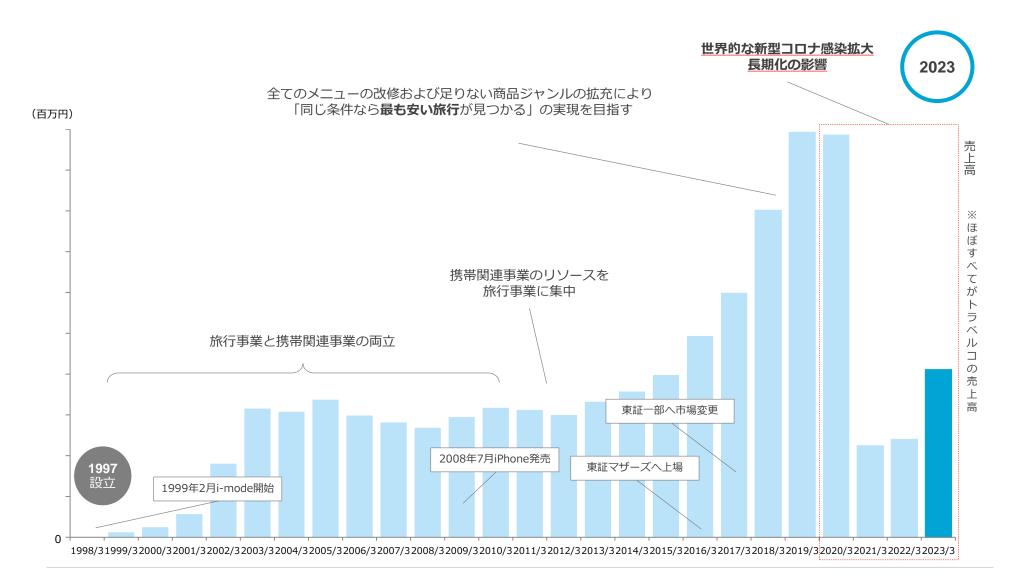
伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営

連結子会社 ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売

従業員数 連結191名

### これまでの歩みと売上高の推移





## 当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト





## 当社サービス / 多言語旅行比較サイト「Travelko」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ





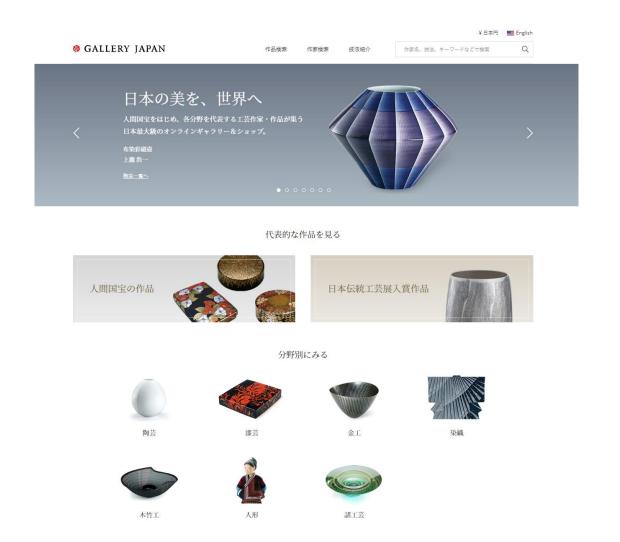
#### 対応言語

英語 中国簡体字 繁体字(台湾) 繁体字(香港) 韓国語

## 当社サービス / 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした"伝統工芸作品"を世界へ紹介するサイト



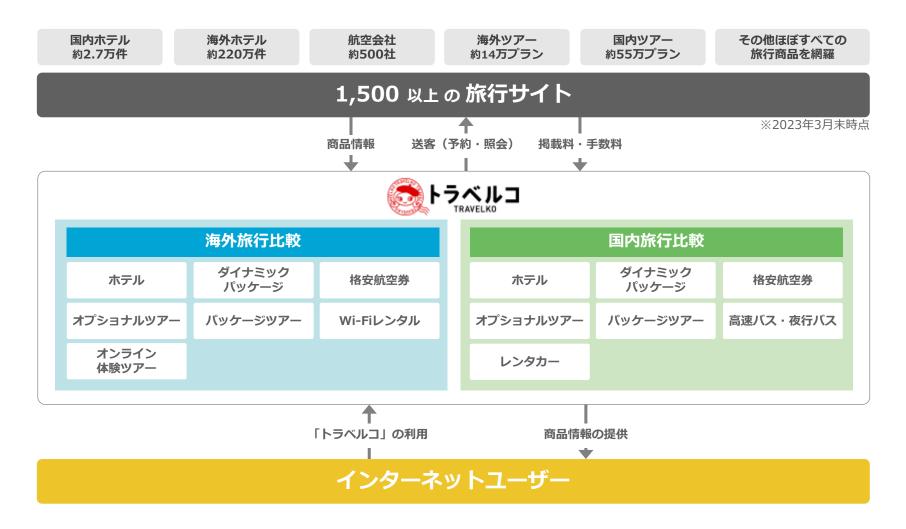


対応言語 英語 日本語

## トラベルコ / ビジネスモデル



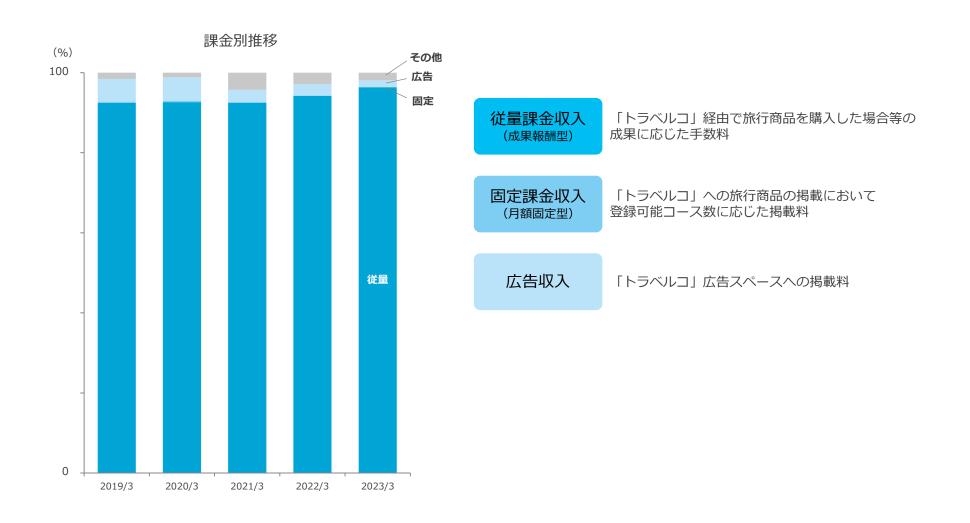
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



## トラベルコ / 収益モデル



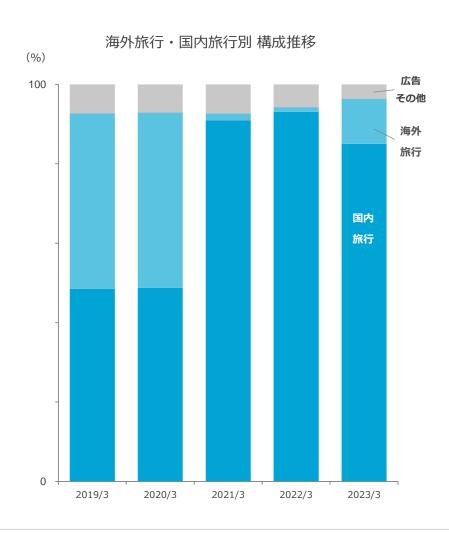
### 収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



## トラベルコ / 海外旅行・国内旅行別売上高構成



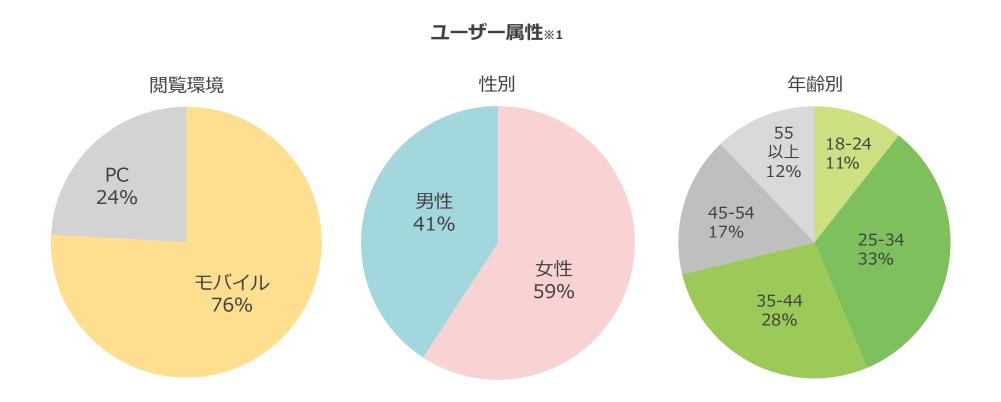
新型コロナの影響で2023年3月期も国内旅行がほとんどを占める



世界的な新型コロナ感染拡大の影響により 海外渡航制限が続いたことで 売上高構成割合が大きく変動



新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため2020年3月期データを使用



※1 2019/4-2020/3までの当社アクセス解析データ

### トラベルコの強み・特徴サマリー①



#### 多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか?

#### 1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプショナルツアー、レンタカー、高速バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

	海外旅行比較	
ホテル	ダイナミック パッケージ	格安航空券
オプショナルツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル
オンライン 体験ツアー		
	国内旅行比較	
ホテル	国内旅行比較 ダイナミック パッケージ	格安航空券
オプショナルツアー	ダイナミック パッケージ	格安航空券

#### 2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急電鉄JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X西鉄旅行 名鉄観光サービス ベルトラ

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット スターフライヤー

…1,500以上の旅行サイト

### トラベルコの強み・特徴サマリー②



#### なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか?

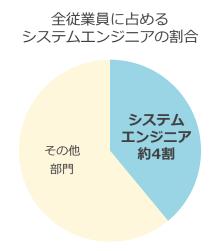
#### ほぼ全てのシステム開発を内製化

これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、 スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが 日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いてい ます。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全 ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。



### 本資料の取り扱いについて



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



## 株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア 管理本部

TEL: 03-5545-7215 FAX: 03-3586-8708

ホームページ: https://www.opendoor.co.jp